

小児期からの総合的な健康づくりに関する研究 序文

主任研究者：村田 光 範

この研究班は平成5年度から始まった「小児期からの健康的なライフスタイルの確立に関する研究(主任研究者福渡 靖順天堂大学公衆衛生学教授)」を引き継いだかたちになっているため基本的には小児期の動脈硬化促進危険因子のコーホート調査を主題にしているが、この研究班になってからその基本的な研究姿勢がより具体的なものになり、①効果的な運動及び体力向上の方策に関する研究(分担研究者：村田光範)、②乳幼児期の栄養・食生活の在り方に関する研究(分担研究者：戸谷誠之)、③小児期からの成人病予防に関する研究(分担研究者：福渡 靖)、④健康的なライフスタイルの確立に関する研究(分担研究者：鏡森定信)、⑤コーホート調査の解析に関する研究(分担研究者：箕輪眞澄)の5つの分担研究から構成されている。

研究主題として村田班は新しく構成されたものであり、小児期、とくに幼児期の運動は研究課題として新しいものである。人の運動に関する研究としては「競技スポーツのトレーニングに関するもの」と「リハビリテーションに関するもの」は大きな研究成果を挙げているが、「健康を維持増進するための運動」に関してはきわめて新しい研究課題である。

平成5年度からの研究主題を引き継ぐ福渡班は具体的な課題の1つとして肥満、高脂血症、高血圧の指導ガイドラインの作成があり、同じく平成5年からの研究主題を引き継いでいる鏡森班は健康的なライフスタイルを形成するための具体的な方策が研究目標に挙げられている。

戸谷班は従来からの小児の栄養に関する研究を今年度からこの研究班に引き継ぐ形になっていて、その研究課題は独立したもののように思われるが、現在の小児、とくに幼児期の健康問題として運動不足は深刻であり、運動と栄養は表裏一体であり、この意味で乳幼児期の栄養も小児期の健康づくりの点で重要

な研究課題である。

運動、栄養といったライフスタイルの根幹をなすことの障害から小児期に肥満、高脂血症、高血圧といった危険因子が増加傾向を示している。しかも、これらの危険因子を成人まで引きずる可能性が高いことから、これら危険因子対策は今後の小児の健康問題として中心的課題である。このことについて包括的な研究を展開しているのがこの研究班である。この研究班の研究課題は、まだ、まだ将来にまつものが多いだけに、今後の研究の方向性をよく見極めながら、具体的な展開を図るつもりである。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



小児期からの総合的な健康づくりに関する研究

序文

主任研究者:村田光範

この研究班は平成5年度から始まった「小児期からの健康的なライフスタイルの確立に関する研究(主任研究者福渡 靖順天堂大学公衆衛生学教授)」を引き継いだかたちになっているため基本的には小児期の動脈硬化促進危険因子のコーホート調査を主題にしているが、この研究班になってからその基本的な研究姿勢がより具体的なものになり、(1)効果的な運動及び体力向上の方策に関する研究(分担研究者:村田光範)、(2)乳幼児期の栄養・食生活の在り方に関する研究(分担研究者:戸谷誠之)、(3)小児期からの成人病予防に関する研究(分担研究者:福渡 靖)、(4)健康的なライフスタイルの確立に関する研究(分担研究者:鏡森定信)、(5)コーホート調査の解析に関する研究(分担研究者:簗輪眞澄)の5つの分担研究から構成されている。

研究主題として村田班は新しく構成されたものであり、小児期、とくに幼児期の運動は研究課題として新しいものである。人の運動に関する研究としては「競技スポーツのトレーニングに関するもの」と「リハビリテーションに関するもの」は大きな研究成果を挙げているが、「健康を維持増進するための運動」に関してはきわめて新しい研究課題である。

平成5年度からの研究主題を引き継ぐ福渡班は具体的な課題の1つとして肥満、高脂血症、高血圧の指導ガイドラインの作成があり、同じく平成5年からの研究主題を引き継いでいる鏡森班は健康的なライフスタイルを形成するための具体的な方策が研究目標に挙げられている。

戸谷班は従来からの小児の栄養に関する研究を今年度からこの研究班に引き継ぐ形になっていて、その研究課題は独立したもののようと思われるが、現在の小児、とくに幼児期の健康問題として運動不足は深刻であり、運動と栄養は表裏一体であり、この意味で乳幼児期の栄養も小児期の健康づくりの点で重要な研究課題である。

運動、栄養といったライフスタイルの根幹をなすことの障害から小児期に肥満、高脂血症、高血圧といった危険因子が増加傾向を示している。しかも、これらの危険因子を成人まで引きずる可能性が高いことから、これら危険因子対策は今後の小児の健康問題として中心的課題である。このことについて包括的な研究を展開しているのがこの研究班である。この研究班の研究課題は、まだ、まだ将来にまつものが多いだけに、今後の研究の方向性をよく見極めながら、具体的な展開を図るつもりである。